

# 幼児期の教育の充実

## 園経営の重点

◆**幼児が安心して主体的に生活できる環境**

- 教職員との信頼関係のもと、幼児が主体性を発揮できる環境づくり
- 家庭や地域社会との連携・協力

◆**教職員が専門性を発揮しながら、生き生きと楽しく働ける職場**

- 教職員一人一人が活躍できる場づくり
- 職場の温かい人間関係の醸成

## 幼児期の教育で大切にしたいこと

### 環境を通して行う教育

- ・幼児期にふさわしい生活の展開
- ・遊びを通しての総合的な指導
- ・一人一人の発達の特性に応じた指導



## 幼児が主体性を発揮する幼児期の教育

達成感や充実感、自信

できた！  
またやってみよう。

幼児が自己肯定感を高められる言葉かけ・保護者との連携

幼児のよさや頑張り認め、自信を持たせ、遊びの充実・発展につなげる。

試行錯誤

もっと  
こうしたいな。

幼児の思いに寄り添う姿勢

幼児の思いを受け止め、共感したり、一緒に考えたりする。

見通しをもつ

こうして  
みよう！

幼児の成長や発達、その場の状況に応じた援助

手伝える、助言する、任せる、待つなど、必要な援助を判断して行う。

思いや願いをもつ

やって  
みたい！

幼児一人一人への理解

興味・関心が高まり、思いや願いが生まれるような物的・空間的環境を構成する。

幼児期は、非認知能力を育成するための大切な時期です

# 幼児教育施設と小学校の取組

## 幼保小の円滑な連携・接続に向けて

～幼児期の教育における学びや育ちを

小学校につなぐために～

## 幼保小それぞれで取り組みたいこと

- ・連携窓口、幼保小連携担当者の明確化
- ・幼保小連携に対する教職員の意識の啓発
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（10の姿）を踏まえた教育課程の編成・実施



## 幼保小で一緒に取り組みたいこと



### <1> 基盤づくり

- ・管理職及び担任同士の情報交換等による関係づくり
- ・幼児と小学校児童との交流活動の実施

### <2> 相互理解

- ・互いの保育・授業参観
- ・幼児教育施設と小学校の教職員が互いの保育・教育の内容や方法について理解し合う合同研修会の実施

### <3> カリキュラムの開発・実施

- ・地域の幼児教育施設と小学校の「目指す子供像」の検討と共有
- ・架け橋期のカリキュラム（育みたい資質・能力や活動、環境の構成等を可視化したもの）の作成
- ・架け橋期のカリキュラムを基にした保育・授業実践

### <4> カリキュラムの評価・改善

- ・次年度に向けた架け橋期のカリキュラムの評価・改善